

年間指導計画例

月 配 時 間	題材名	学習目標	主な教材	主な学習活動	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	音色	リズム	速 度	テ ン ポ	強 弱	形 式	構 成	取扱い
					(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	リズム	速度	テンポ	
4 5 6 7	4 正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう	音色や強さを保ちながら息を吐く方法や、息の流れを安定させて響きを保ちながら歌う方法を身に付けて、曲のイメージをもち、曲想と歌詞の関わりや旋律の特徴を理解して、表現を創意工夫して歌う	校歌／《翼をください》 発声練習をしよう 《練習曲第1番》 《魔法みたいに》	・音色や強さを保ちながら息を吐き、息の流れを安定させて響きを保ちながら歌う ・歌詞の内容を深く捉え、曲想との関係を理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌う ・旋律の特徴を理解して、イメージに合った表現を工夫する	○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 楽譜を正しく読めるようになろう	ト音譜表に書かれた旋律のリズム、音高、音程、フレーズなどを把握し、歌唱したり楽器で演奏するとともに、音楽用語や記号などに注意して、曲のイメージをもって表現を創意工夫する	楽譜を読もう	・音の高さや長さ、休符の長さ、ト音譜表における音名、階名を学び、楽譜を読んで歌ったり楽器で演奏したりする ・音楽用語や記号などに注意して、曲のイメージをもって表現を創意工夫する	○	○		○	○	○		○						○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 リズム・アンサンブルを楽しもう	音符や休符の長さを意識してリズムを正確に打ち、強弱の変化や曲の構造を理解するとともに、手拍子の他に打楽器を用いることで音色を工夫し、リズム・アンサンブルの表現を創意工夫して演奏する	《クラッピング・カルテット第1番》 音楽って何だろう？リズム	・拍や拍子、リズムについて学び、躍動感をもってリズム・パターンを表現する ・曲の構造を理解して演奏する ・手拍子や打楽器などを組み合わせ、リズム・パターンを豊かな音色で、生き生きと演奏する							○	○	○	○	○	○				○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 4パートからなるリズム・アンサンブルをつくろう	《クラッピング・カルテット第1番》を参考にして、リズム・パターンを考え、手拍子やさまざまな打楽器の組み合わせや、強弱やアクセント、反復する部分を考えて、4パートからなるリズム・アンサンブルをグループでつくる	リズム・アンサンブルをつくろう	・リズム・パターンやその組み合わせを考える ・リズム・パターンをどんな音色で演奏するか、手拍子や打楽器などの組み合わせを工夫する ・強弱やアクセント、反復する部分など曲全体の構造と表現を考える ・他のグループと作品を交換し、互いに演奏して、意見や感想を伝え合う							○	○	○							○	○	○	(1)(2) (3)(4) (7)(8)
	6 日本語の歌曲を、美しい発音と曲にふさわしい歌声で歌おう	日本語の発音の特徴を知り、母音や子音の響きについて学ぶとともに、歌詞の内容を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う	日本語で歌おう 《この道》 《さびしいカシの木》	・日本語の発音の特徴を知り、母音や子音の響きをコントロールする方法を身に付け、日本語の美しい響きに留意して歌う ・歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う	○	○	○		○									○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 音楽って何だろう？	ふだん何げなく耳にしている音楽について、あらためて問い、身の回りで聞こえるさまざまな音に気づき、「音楽とは何か」を考え、《4分33秒》やアザーンを例に、さまざまな音楽のあり方に気付く	音楽って何だろう？ 音楽って何だろう？ 人間と音楽の多様な関わり 《4分33秒》	・身の回りのさまざまな音を聴いて、自分の考える「音楽」のイメージに当てはまるかどうかを評価する ・音楽の機能や、「音楽とは何か」を考える ・《4分33秒》を体験した後で、「音楽」についてもう一度話し合う										○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(8) (10)
9 10 11 12	4 ガムラン音楽の構造とそれを育んできた風土との関わりについて考えてみよう	ガムラン音楽を特徴付ける楽器の音色や、1周期16拍の4周期分からなる骨格旋律などを理解して、《ランチャラン・マニャルセウ》を鑑賞し、ガムラン音楽が育まれたジャワ地域の風土や気候について関心をもつ	ジャワ・ガムランについて学ぼう 《ランチャラン・マニャルセウ》	・ガムランの楽器の名称とそれぞれの役割を理解する ・楽器とリズムの組み合わせや、骨格旋律について理解する ・ジャワ島の自然と音楽の関わりについて考える													○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(8) (9)(10)
	4 カンタータ《土の歌》の詩や曲全体の意味を理解し、《大地讃頌》の合唱表現に生かそう	各楽章の詩の内容を理解し、最終楽章の《大地讃頌》に込められた作詞者と作曲者の思いを考え、オーケストラ編成とピアノ伴奏版の《大地讃頌》の表現の違いを理解して、ふさわしい表現を創意工夫して合唱する	《大地讃頌》 カンタータ《土の歌》	・詩の内容を理解したうえで、各楽章の関連や位置付けを理解する ・《大地讃頌》に込められた思いを考える ・オーケストラ編成とピアノ伴奏版の《大地讃頌》の表現の違いを理解し、ふさわしい合唱表現を工夫する	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	3 声楽の歴史と魅力を知ろう	声楽では、中世からルネサンス、バロックにかけてグレゴリオ聖歌、オルガヌムや模倣の技法を用いた合唱曲、モノディー様式などさまざまなジャンルが生み出されてきたことを理解し、それぞれの特徴や魅力を感じる	オルガヌム《生誕のアレレヤ》 《教皇マルチャルスのミサ曲》 《麗しのアマリッリ》	・西洋音楽史の流れを理解し、各時代の声楽作品の特徴や魅力を感じる ・教科書に掲載されている譜例を歌う												○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 イタリア語の発音の特徴を捉え、イタリア語の歌を歌おう	イタリア語の発音の特徴を捉え、リズムと旋律との関わりを理解し、歌詞の内容と曲の雰囲気に合う表現を創意工夫して歌う	イタリア語で歌おう 《Santa Lucia》／《Bella ciao》 《Caro mio ben》	・イタリア語の発音の特徴を理解する ・イタリア語のアクセントやリズムと旋律との関係を理解する ・歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う	○	○	○	○		○								○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 イタリア・オペラの鑑賞を通して、オペラ歌手の表現に富んだ歌い方に挑戦しよう	オペラのアリアならではのダイナミックな歌い方を参考にして、歌詞の内容と曲の雰囲気に合う表現を創意工夫して歌う	《椿姫》 《トゥーランドット》 《Nessun dorma》	・《椿姫》と《トゥーランドット》のあらすじを理解する ・アリアの歌い方や表現のダイナミックさを感じ、特徴を理解する ・アリアの歌詞の内容と曲の雰囲気に合う表現を創意工夫して歌う	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 2人の作曲家による《Heidenröslein》を、それぞれの雰囲気を生かして歌おう	ドイツ語の発音の特徴を捉え、歌詞とリズムとの関わりを理解するとともに、同じ詩を用いた2つの《Heidenröslein》を、それぞれの曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う	ドイツ語で歌おう 《Heidenröslein》（シュペルト） 《Heidenröslein》（ヴェルナー）	・ドイツ語の発音を学び、ゲーテの詩《Heidenröslein》を朗読して内容を理解する ・ドイツ語の言葉のアクセントと音楽の拍との関わりを理解する ・歌詞の内容や雰囲気を理解し、表現を工夫して2つの《Heidenröslein》を歌う	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	4 箏の唱歌を唱えて、箏の演奏に生かそう	唱歌を唱えて、箏の音楽に特有な旋律の捉え方や余韻の変化や間などを理解するとともに、箏の構造や奏法を学んでその特徴を生かした表現を工夫して演奏する	《虫づくし》 《さくらさくら》 箏曲《六段の調》から〈初段〉	・箏の構造や奏法、縦譜の読み方を学ぶ ・《六段の調》の唱歌を学び、旋律の流れを理解する ・唱歌と箏の奏法を理解し、唱歌を歌いながら演奏する ・余韻の変化や間を理解し、表現を工夫して演奏する							○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(8)
	3 日本各地の民俗芸能を見たり聴いたりして、その特徴を感じ取り、自分の住んでいる地域の民俗芸能を調べよう	日本各地の民俗芸能を見たり聴いたりして、開催時期や場所、由来などを知り、使われている衣装、舞、楽器、音階、リズム様式を理解したうえで、自分の住んでいる地域の民俗芸能を調べ	日本各地の民俗芸能 日本の音階 民謡のリズム様式	・日本各地の民俗芸能を見たり聴いたりして、開催時期や場所、由来などを知る ・個々の民俗芸能で用いられている衣装、舞、楽器、音階、リズム様式を学ぶ ・自分の住んでいる地域の民俗芸能を、上記の視点から調べる												○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	2 物語と音楽の関わりを理解して、《魔法使いの弟子》で作曲者が工夫したことを探求しよう	作品に影響を与えたゲーテの詩『魔法使いの弟子』のあらすじを読み、情景を思い浮かべながら曲を鑑賞し、登場する水、ほうき、魔法使いの弟子、呪文などがどのように音楽で表現されているかを考察する	交響詩《魔法使いの弟子》	・ゲーテの詩『魔法使いの弟子』のあらすじを読み、情景を思い浮かべながら曲を鑑賞する ・登場する水、ほうき、魔法使いの弟子、呪文などがどのように音楽で表現されているかを考えて話し合う											○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)
	3 和音進行の規則を理解して、曲をつくろう	和声理論の規則を理解し、それに基づいた和音進行をつくり、各和音の構成音を中心にピアノ曲をつくり、速度や強弱などの音楽的な表情を付ける。さらにつくったピアノ曲をアレンジする	音楽って何だろう？和音の進んで何？ 和音進行を考えよう 和音と旋律でピアノ曲をつくろう つくったピアノ曲をアレンジしよう	・8小節の和音進行をつくる ・各和音の構成音を主に用いてピアノ曲をつくる ・速度や強弱、アーティキュレーションを考える ・ピアノ曲をアレンジする							○	○	○	○						○	○	○	(1)(2) (4)(8)
3 能の特徴や魅力を感じ取ろう	シテの舞の部分で演奏される「呂中干」の唱歌を唄ったり、《高砂》や《羽衣》の謡に挑戦したりするとともに、さまざまな演目を鑑賞して、能の音楽のよさや美しさを深く味わう	能の音楽に親しもう 能《安宅》《高砂》《井筒》《羽衣》	・「呂中干」の唱歌をまねて唄え、その特徴を感じ取る ・《安宅》《高砂》《井筒》《羽衣》のあらすじを読み、呂中干の部分を鑑賞する ・《高砂》から「ツヨ吟」、能《羽衣》から「ヨウ吟」で謡をそれぞれ聴いたりまねたりして、「ツヨ吟」と「ヨウ吟」の謡い方の特徴を学ぶ	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (3)(4) (7)(8)	
4 ベートーヴェンの《交響曲第9番》第4楽章を聴き、曲に込められた思いを感じ取ろう	ベートーヴェンの《交響曲第9番》第4楽章が、器楽による表現と声楽による表現が融合した作品であることを理解し、「歓喜の主題」の登場の仕方や、それに付けられた歌詞の内容と合わせて、ベートーヴェンがこの曲に込めた思いを感じる	《交響曲第9番》第4楽章	・曲の構成や歌詞の内容を理解する ・オーケストラ、独唱、四重唱、合唱を伴った壮大な音楽の世界を鑑賞する ・この曲に込められたベートーヴェンの思いについて話し合う														○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(5) (8)(9)	
1 2 3	6 《ウエスト・サイド物語》の背景を理解しながら鑑賞し、《America》の器楽合奏を楽しもう	作品のテーマとなっているアメリカの社会背景を理解し、代表的なナンバーを創意工夫して演奏し、ミュージカル《ウエスト・サイド物語》の登場人物の心情を感じ取る	《ウエスト・サイド物語》 《America》	・社会背景を理解してミュージカル《ウエスト・サイド物語》の登場人物の心情を感じ取る ・《America》を創意工夫して器楽合奏する					○	○	○	○	○	○						○	○	(1)(2) (4)(8)	
4	歌詞に込められた主張を受け止めて歌おう	ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞に込められたアーティストの主張の背景を理解し、曲の雰囲気に合う歌い方や表現を創意工夫して歌うことで、ポピュラー音楽に親しむとともに芸術活動を支える著作権を遵守する態度を養う	《Blowin' in the Wind》 《Imagine》 ポピュラー音楽 音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人（著作権）	・ポピュラー音楽の歴史やジャンルを理解する ・英語詞の内容を、その背景を含めて理解する ・歌詞の内容にふさわしい表現を考えて歌う ・芸術活動を支える著作権について理解する	○	○	○	○	○		○		○						○	○	○	○	(1)(2) (4)(8) (9)
3	舞楽《陵王》の追吹の唱歌を唄えたり、神楽歌《其駒》を歌ったりして雅楽に親しもう	舞楽《陵王》を鑑賞したり、舞人が登場する《陵王乱序》の追吹の唱歌を覚えて輪唱したり、神楽歌《其駒》をまねて歌ったりすることで、日本の伝統音楽である雅楽に親しむ	雅楽に親しもう 舞楽《陵王》 神楽歌《其駒》	・舞楽《陵王》の追吹の唱歌をまねて唄え、その特徴を感じ取る ・竜笛の唱歌を練習し、ソプラノ・リコーダーなどで輪奏する ・神楽歌《其駒》の歌をまねて歌う	○	○	○	○		○					○	○	○	○	○	○	○	(1)(2) (4)(8) (9)(11)	
3	ミニマル・ミュージックを演奏しよう、つくってみよう	宮沢賢治の作品に登場するオノマトペを素材にして書かれた作品《in どっどど》の演奏を通して、リズム・パターンの重なり、反復、変化などが生み出すミニマル・ミュージックのおもしろさを体験するとともに、個人やグループで考えたオノマトペを素材にしたさまざまなリズム・パターンを用いてミニマル・ミュージックを工夫してつくる	《in どっどど》 オノマトペを素材にミニマル・ミュージックをつくらう 音楽って何だろう？宮沢賢治と音楽	・《in どっどど》の各リズム・パターンをオノマトペ、楽器、手拍子などで演奏する ・互いの演奏をよく聴き合い、自分のリズム・パターンとの重なり方やリズム・パターンの反復、変化を感じ取りながら即興で演奏する ・《in どっどど》を参考に、リズム・パターンをつくる ・つくったリズム・パターンをもとにして、グループごと、もしくは全員で演奏する							○	○	○	○	○	○			○	○	○	(1)(2) (4)(6) (8)(9)	

観点別評価例		評価の観点及びその趣旨			
		(知識・技能) ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している	(思考・判断・表現) 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている	(主体的に学習に取り組む態度) 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	
題材名	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	